

ソルフェージュ

[演習] 第1学年 後期 必修 2単位

《履修上の留意事項》 この演習は、全回を通じて2つのグループに分けて実施する。

《担当者名》 近藤里美 skondo@hoku-iryo-u.ac.jp 今野くる美

【概要】

音楽を療法的に用いるための基礎的な音楽技能を習得する科目である。

【学修目標】

これまでに学んだ音楽理論を実際の音に結びつけるための読譜力、視唱力、聴音能力を習得する。そのため以下の行動目標を設ける。

1. 初見視唱ができる。
2. 初見奏ができる。
3. リズムや拍節を理解して記譜できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	・授業の概要、進め方、評価方法についての説明	近藤里美
2) 10	初見視唱の基礎	・基礎的な音程やリズムによる初見視唱 ・演習と自主練習の反復学習	近藤里美 今野くる美
11) 20	初見視唱の応用	・応用的な音程やリズムによる初見視唱 ・演習と自主練習の反復学習	近藤里美 今野くる美
21) 29	聴音の基礎	・音程の聴き取りと記譜 ・演習と自主練習の反復学習	近藤里美 今野くる美
30	まとめ	・これまでの学習の確認と課題の整理	近藤里美 今野くる美

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

平常点 50%、授業内に実施する課題達成確認テスト 50%

【教科書】

特に指定しない。授業にて必要な資料・楽譜を配布する。

【参考書】

岡田龍三 著 「ソルフェージュ(1)新曲視唱と聴音練習」 全音楽出版社 2007年

桐朋学園音楽部門 著 「ソルフェージュ教育ライブラリー基礎ソルフェージュ」 音楽之友社 2006年

【備考】

- ・学習形態は、個々の能力に沿った個人レッスン、または小グループレッスンを基本とする。

【学修の準備】

- ・あらかじめ配布された資料・楽譜をもとに、十分な事前練習を行うこと。
- ・毎回の授業後には、各自の課題点を整理し十分に復習すること。
- ・事前学修・事後学修に各々80分を費やすこと。

【実務経験】

近藤里美（音楽療法士）

今野くる美（リトミック指導士）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関および介護保険施設での実務経験を活かし、音楽療法に必要なソルフェージュの技術演習を行う。